

PROJECT NAHA 2040

20年後の那覇市を
考えるワークショップ

第1回 タウン ミーティング 開催報告

那覇市では、今後20年のまちづくりの方向性を定める計画*を策定中です。

計画策定にあたり、市民のみなさまと意見交換を行うため、2018年2月3日に、第1回タウンミーティングを、那覇市役所12階会議室にて開催しました。

*「那覇市都市計画マスタープラン」及び「那覇市立地適正化計画」のことをさします。

PROJECT NAHA 2040とは

Project (プロジェクト)には、
①大掛かりな事業、計画 ②予測する、映し出すなど複数の意味があります。
市民の皆様と一緒に将来のまちを想像し、計画を作っていく取り組みを、このように名付けました。



プログラム

- 都市計画マスタープラン、立地適正化計画とは何か？
- 10の視点でみる那覇市の姿
- 特別講演 「那覇市の20年をみつめて」
新垣昌秀氏(元那覇市役所都市計画部長)

都市計画とは、社会に対する愛情である。「都市は人なり」という石川栄耀先生の言葉のとおり、シビックプライド(まちに対する誇り)を持って、市民が主役のまちづくりを進めていきましょう。



- ワークショップ
「これからの那覇市を想像しよう」

ワーク1 自己紹介

20年前の私、20年後の私

20年前、どこで何をしていたか？
20年後どこで何をしていたか？
自己紹介を兼ねて共有しました。



ある30代女性の場合…
20年前のわたし
小学校6年生。
1学年1クラスしかない
小さな小学校で最年長。

20年後のわたし
52歳社会人。
結婚して子どもも
いたらいいなあ。
仕事もバリバリやって
いたい！

ある50代男性の場合…
20年前のわたし
独立して開業。
夢いっぱい、
ワクワクしていました。

20年後のわたし
72歳。元気で仕事半分
遊び半分の生活を
楽しんでいる。
孫を連れてあちこち
ぶらぶらと…。

那覇市の 変化を 想像する

ワーク2

那覇市の現状や人口などの将来予測、市民アンケートの結果などを踏まえ、このまま20年経つと那覇市にはどんな変化が起こるかを予測しました。

良い変化(ポジティブな変化)

多様な人と暮らし

- ・お年寄りが元気
- ・世代間の交流が活発になっている
- ・協働によるまちづくりが盛り上がっている

- ・公共交通が充実している
- ・公共施設の有効利用が図られる
- ・街路樹が増え、木陰が増える

変わるインフラ

世界にひらけたまち

- ・世界にもっと那覇が広まっていく
- ・外国語のチャンプルー文化(楽しい)
- ・観光客が多く、国からもっと増える
- ・海外の人も多く住むようになる

心配な変化(ネガティブな変化)

活気のないまち

- ・学校や公共の施設が減っている
- ・新築が減って古いアパートが多くなる
- ・空き家、住人のいない土地が増える
- ・コミュニティが希薄化する

- ・画一的かつ無機質な開発が進み、那覇らしさが消失する
- ・那覇らしい文化や風景が失われる
- ・観光客向けの店ばかりになる

個性のないまち

車社会の弊害

- ・ますます渋滞がひどくなる
- ・高齢ドライバーの事故が増える
- ・車が多くて空気が悪くなる
- ・出歩く人が減り、活気が失われる

- ・貴重な自然や生き物が失われる
- ・都市と自然との関係が希薄化する

自然環境の悪化

2040年の からの 報告

ワーク3

2040年の那覇市は…

歩いて楽しい

- ・すーじぐわあは残されている
- ・まち全体がショッピングエリア
- ・いろいろな人と交流できる

緑と公園がゆたか

- ・色々な楽しみ方ができる
- ・エンターテイメント公園がある
- ・カフェや本屋など、公園が様々な機能を持つようになっている
- ・緑があふれるまちになっている

世界のNAHA

- ・歴史あるまち、風格あるまち
- ・未来的なまちなみと歴史的なまちなみの共存
- ・文化・芸能都市
- ・あらゆる文化が共存する文化観光都市

お問い合わせ:

那覇市 都市みらい部
都市計画課

まちづくり推進グループ

電話(直通):098-951-3246

運営(受託者):株式会社 国建・株式会社 URリンクージ 業務共同企業体

これまでのワークをふまえ、20年後の理想の那覇市の姿をグループで考えました。

発表は「2040年の理想の那覇市に住む人々から、2018年の私達への自慢話」という形式で行いました。

各グループのすてきなアイデアと、寸劇や紙芝居なども交えた個性ゆたかな発表で、笑顔がいつぱいの発表になりました。



移動が便利に

- ・自家用車がいらない
- ・高齢者も外出しやすい
- ・使いやすい公共交通機関がある
- ・移動手段が多様化している

多様性を楽しめる

- ・こどもから高齢者まで住みやすい
- ・バリアフリーが徹底されている
- ・高齢者にも活躍の場がある
- ・外国人やLGBTsの人々もコミュニティの一員となっている
- ・公民館や学校など、公共施設の活用も多様化している

遊び心があふれる

- ・地域の遊び心を大切にすまち
- ・オープンガーデンなどがある
- ・地域の資源でインスタ映え

策定の取り組みはまだまだ続きます!

第2回は2018年5月26日(土)に開催し、その後地域別ワークショップも開催予定です。

あなたのご参加をお待ちしています!



※これらは、あくまでも参加者の意見を取りまとめたものであり、市の公式な見解を示すものではありません。